

日吉津村行財政改革推進プラン進捗状況

改革の柱

- 1 歳入の確保
- 2 行政のスリム化・効率化
- 3 参画と協働の推進
- 4 情報の共有・公開

区分	内 訳	達成率
実施済（継続実施）	11項目	65%
未実施（引き続き検討）	6項目	

取り組み項目

1 歳入の確保

取り組み項目	具体的な目標	担当課	実施目標			期待される効果	2/7 検討結果	5/26 検討結果	H23年度結果【取組み状況】	
			H22	H23	H24				実施区分	
1 新しい財源の確保	長期的な視野に立ち、土地の有効利用を推進し、企業誘致等に努力します。	総務課 (地域振興課)	検討	検討	検討	地域経済の活性化が期待できるとともに税収の確保が見込まれます。	【意見等】 ・例えば、県外の企業に日吉津村の魅力を売り込むのはどうか。 ・現状の土地利用計画では、企業を誘致するのは無理であり、受け皿に問題がある。 ・土地利用のあり方では、米子市、境港市との調整もあり、本村のみの考えだけでは難しい。 ・どういうところから取り組めるのか。方法を考えてみる必要がある。 →課長会にて検討する。	→課長会にて検討する。	●未実施 (引き続き検討)	○引き続き検討 (西部の2市7町村で構成する鳥取県西部地域振興協議会においても市や町・村で単独で企業誘致するよりも広域連携を図り、鳥取県西部としての魅力を発信することにより、よりよい企業を誘致できるよう連携を図っている。)

2 行政のスリム化・効率化

取り組み項目	具体的な目標	担当課	実施目標			期待される効果	2/7 検討結果	5/26 検討結果	H23年度結果【取組み状況】	
			H22	H23	H24				実施区分	
1 イベントの運営方法の見直し	今後も行政主体で実施するもの、各種団体等で実施していくものを分類、検討し運営方法を見直します。	全 課	継続実施	継続実施	継続実施	運営方法の見直しにより、住民・団体のかかわりがさらに深まることが期待できます。また、新たな行政課題等に積極的に取り組むことができます。	【意見等】 ・課長会で方針を示してから、プロジェクトで検討する。 →課長会にて検討する。 方針を示してからプロジェクトで検討する。	【意見等】 ・H20年度に検討をして改革の方向性を示しているが、現状はどうなっているのか。 ・改革の方向に向かっていくのか。 ・以前に各イベント等を運営するのに1人、人員配置をして事務局の運営をとというような話しもでていたが。 ・住民のみなさんにやってもらう仕組みづくり ・政策的な団体か委託的な団体かによって、全て自主的に運営ということにはならないと思う。 ・まず現状を把握し、検討する。 →課長会にて検討する。	○実施済 (継続実施)	○事務局の方から少しずつ役割をもってもらうように話しを進める。
2 事務事業の再構築	事務・事業を見直し、継続・縮小・廃止等を検討し、さらに直営か外部への委託かを検討し、事務の再構築に取り組めます。	全 課	検討 一部実施	検討 一部実施	検討 一部実施	事務の再構築により、事務量の適正化・効率化が図られます。また、新たな行政課題等に積極的に取り組むことができます。	【意見等】 ・平成18年に実施したようにシート等を活用して、事務事業の見直しをする。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・本日は検討結果が今回の機構改革につながる仕組みがよいが。 ・事務事業の再構築と行政評価システムは連動している。 →課長会にて検討する。	○実施済 (継続実施)	○7月1日、機構改革実施（総務課、地域振興課、福祉保健課、住民課、建設産業課の5課を総務課、福祉保健課、住民課、建設産業課の4課に。また、新しく総務課の中に総務室と協働推進室の2室と福祉保健課の中に総合福祉支援室と健康対策室の2室を設ける。）
3 民間委託の検討	現在の行政事務全般について、民間委託で対応できるものについては、十分に検討し積極的に実施します。	総務課及び該当課	検討 一部実施	検討 一部実施	検討 一部実施	民間委託により、行政事務のスリム化が図られ、新たな行政課題等に積極的に取り組むことができます。また、競争の導入により、サービスの向上が期待できます。	【意見等】 ・下水道事業について、管理は全面委託しているが、賦課、徴収等については、役場職員で行っている。全てを民間委託することは、法的に可能なのか等検討が必要である。 ・標準をしばってから検討する。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・下水道事業について、全てを民間委託できるのか。 ・年6回発行している領収通兼請求書を年1回に省略したが、事務が煩雑になったように思う。（異動者だけでなく、全てをチェックしている→異動者だけでいいのでは。） →課長会にて検討する。	●未実施 (引き続き検討)	○今後も検討
4 指定管理者制度の導入検討	現在の行政事務全般について、指定管理者制度を活用できるものについては、十分に検討しながら積極的に実施します。	総務課及び該当課	検討 一部実施	検討 一部実施	検討 一部実施	指定管理者制度の導入により、行政事務のスリム化が図られ、新たな行政課題等に積極的に取り組むことができます。また、競争の導入により、サービスの向上が期待できます。	【意見等】 ・海浜運動公園・キャンプ場、トレセン、河川敷運動広場など合わせて、指定管理者制度の導入が出来るのではないかと。 ・今はキャンプ場等利用する時に管理人に出動してもらったり、担当も臨時職員が行っているなど、経費がかからない方法で運営している。 ・今より経費はかかるが、公募してみようか。ただ、今は管理人も村内の方でお願いしているが、村内の方が引き続き仕事ができるかどうかはわからない。 ・キャンプ場、トレセンなどまとめて、指定管理者に出すことはいいと思うが、できれば、村内の方にNPO法人を立ち上げてもらって受けていただきたい。だれか中心になる人があればいいと思うが。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・海浜運動公園キャンプ場など、村内にNPO法人ができればそこをお願いするというのもできるが、そういう団体はまだない。（誰か1人でも中心になる人があればいいが） ・例えば「ひえづ物産」を1つの核として取り組むということも考えられる。 →課長会にて検討する。	●未実施 (引き続き検討)	○引き続き検討する。

5	行政評価システムの導入	行政評価システムの導入を検討し、導入後は行政評価の結果を公表します。	総務課 (地域振興課)	検討 一部実施	検討 一部実施	実施	行政の透明性の向上が期待できます。また、評価により事務事業の効率化、経費の削減等が期待できます。	【意見等】 ・総合計画の中で、事務事業評価はしている。 ・行政評価ということは、政策評価である。本村の評価システムをつくり、導入していく。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・事務事業の再構築と連動している。 ・行政評価システムの仕組みづくりの素案を作成する。(内部でのもの) →課長会にて検討する。	●未実施 (引き続き検討)	○行政評価システムの仕組みづくり素案を作成するため、検討中。	
	評価結果の公表											
6	電子自治体化の推進	各種手続きや内部事務の電子化など、IT技術を活用した利便性の高い村づくりを進めます。	全課	検討 一部実施	検討 一部実施	検討 一部実施	電子的手続きを推進することにより簡素化、迅速化が図れます。また、内部事務の電子化を図ることにより、業務管理の簡素化、事務の効率化が期待できます。	【意見等】 ・各課の中では、電子化への取り組みは進められている。(平成23年1月31日分より、預金口座振替・振込について、パソコンによるデータ送信を行っている) ・事務事業の再構築の中で検討する。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・仕訳書がどこにいったかわからないことがあるが、電子決裁を導入していれば、そのようなトラブルは防げるのと思う。 ・電子決裁の導入については、文書管理システムと併せて導入するのがよいのではということと検討してきた。経費等の理由に当分の間導入しないと結論づけている。 →課長会にて検討する。	●未実施 (引き続き検討)	○費用対効果等の関係で当分の間導入しないと結論づけているが、引き続き検討する。	
7 その他	1	使用料・手数料の見直し	適正な受益者負担であるための見直しをします。(平成23年度に見直し)	該当課	一	見直し 実施	一	適正な受益者負担が図れます。	【意見等】 ・3年に1度見直すこととしている。平成23年度に見直しをする。 ・全ての使用料・手数料について検討する。結果として、金額の変更のないものもあるかもしれないが、見直しする。(見直しする際は、各課で他町等の情報を収集し、様式等にまとめて検討する。) ・平成23年12月までには検討を終え、24年度当初予算に反映できるように整える。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・見直しをする。 →課長会にて検討する。	○実施済 (継続実施)	○本年度見直した。(見直し結果は据え置き。使用料・手数料の料金改正はない。ただし、下水道使用料については、水量割で検討開始、今後下水道審議会にて協議。)
	2	税負担の公平性の確保	各課間で連携し、管理職等で結成した徴収チーム(スタッフネット)で徴収を推進します。	住民課 福祉保健課 建設産業課	継続 実施	継続 実施	継続 実施	未収金を減らすことにより、税負担の公平性が確保できます。	【意見等】 ・今の徴収スタッフネットの取り組みは効果を上げている。さらに充実させていく。 ・徴収スタッフネットの会議については、情報交換の場でもある。 ・メンバーが増やせないのか。 ・下水道の賦課・徴収担当が臨時職員であり、時間外に徴収に出かけることができない状況にある。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・継続実施	○実施済 (継続実施)	○継続実施
	3	時間外勤務の削減	ノー残業デー等の徹底を図り、時間外勤務の削減を図ります。	総務課	継続 実施	継続 実施	継続 実施	時間外勤務を削減することにより、ライフワークバランス(仕事と生活の調和)が図れます。また、時間外勤務の常態化による事務能率の低下防止も期待できます。	【意見等】 ・休日に出勤した場合、代休対応できないか、検討してほしい。(組合との調整が必要。) ・公民館の土・日の図書利用の要望に対して、どこまで答えることができるのか。(土・日勤務した場合の勤務振り替え等の検討。) ・事務事業の再構築の検討の際に、廃止・縮小等の事務があるかわからないが、職員数が少ない中、事務は増えるということでは、時間外勤務の削減は難しいので、事務事業の見直しは必要である。 ・職員の健康管理の面でも時間外勤務の削減は必要である。 ・時間外勤務手当が増えており、今年の場合除雪対応があったが、今後、事務の組み合わせ等工夫が必要である。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・ノー残業デーの周知徹底。 ・声かけも必要。 →課長会にて検討する。	○実施済 (継続実施)	○ノー残業デーの周知徹底を図った。

3 参画と協働の推進

	取り組み項目	具体的な目標	担当課	実施目標			期待される効果	2/7 検討結果	5/26 検討結果	H23年度結果【取組み状況】	
				H22	H23	H24				実施区分	
1	ボランティア団体等との連携推進	自治会、コミュニティ組織、各種ボランティア団体や個人との連携を強化します。	地域振興課	継続実施	継続実施	継続実施	協働を推進することにより、行政効果が高まることと、村民と行政の信頼関係が深まることが期待されます。	【意見等】 ・工夫して進める。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・担当課でも進める。	○実施済 (継続実施)	○ボランティア団体による意見交換会の実施
2	行政との協働を目指すNPO法人の設立支援	村報、ホームページ等でNPO法人の登録制度などを周知するとともに、行政との協働を目指すNPO法人の設立を支援します。	総務課 (地域振興課)	継続実施	継続実施	継続実施	NPO法人の設立をすることにより、村内各種事業における協働と村民の参画が期待できます。	【意見等】 ・「いちごの広場」が平成24年度からNPO法人化になるよう、県民局に相談しながら進めている。 ・行政の方から出せる仕事を準備しておくことも必要か。 →課長会にて検討する。	【意見等】 ・担当課でも進める。 ・1人でもいいので中心になる人があればいいが。	●未実施 (引き続き検討)	○各種団体・グループ活動を応援し、NPO法人設立の意向のある団体等は支援する。

4 情報の共有・公開

	取り組み項目	具体的な目標	担当課	実施目標			期待される効果	2/7 検討結果	5/26 検討結果	H23年度結果【取組み状況】	
				H22	H23	H24				実施区分	
1	住民説明会の開催	新たな課題等について逐次住民説明会を開催し、住民の意見を施策に反映していきます。	総務課及び該当課	継続実施	継続実施	継続実施	新たな課題等に対して、住民説明を実施することで、意見をいただきながら、住民ニーズにあった施策を進めることができます。	【意見等】 ・必要に応じて取り組んでいく。	【意見等】 ・継続実施	○実施済 (継続実施)	○継続実施
2	村報及びホームページ、ひえづ3チャンネルでの情報発信の徹底	行政の情報等をわかりやすく村報やホームページ、ひえづ3チャンネルにてお知らせします。	総務課(地域振興課)及び該当課	継続実施	継続実施	継続実施	行政情報を発信し、村民と情報を共有することにより、村民の参画が期待されます。	【意見等】 ・行政の中で行っている会議等についても3チャンネルで放送してほしい。(行政情報の発信) ・住民生活に必要な情報を発信する。 ・村報の充実も必要である。今は事務連絡ばかりになっているように感じている。 ・1か月ごとに担当する課を決めるとか、担当の課長が行政情報について説明する等、各課のお知らせを流す工夫、仕組みづくりについて検討する。 →職員プロジェクトにて検討する。	【意見等】 ・どのような行政情報を3チャンネルで流せるのか。各課の情報を発信していく工夫、仕組みづくり。 →職員プロジェクトにて検討する。	○実施済 (継続実施)	○H23.10月1日より実施(行政情報発信を輪番で流す。)
3	「村民からの提案箱」の設定	村政に関する意見・提案・要望等を「村民からの提案箱」にて受付、回答する仕組みを整えていきます。	総務課 (地域振興課)	検討	検討実施	継続実施	村民の声が村政に反映され、迅速な行政運営が図られます。また、ホームページにて提案及び回答内容を公開することにより、村民の参画意欲の向上が期待されます。	【意見等】 ・苦情のやり取りになってしまうと回答も大変であり、仕事量も増える。 ・担当の地域振興課の方で進められる予定であると聞いている。 →地域振興課	【意見等】 ・なんでもかんでもではいけないので仕組みづくりをする。 →職員プロジェクトにて検討する。	○実施済 (継続実施)	○H23.9月1日より実施(日吉津村広報活動実施要綱)
4	財政状況の公表 財政シミュレーションの公表	財政状況や財政シミュレーションの内容をさらにわかりやすくし、広報・ホームページなどで公表します。	総務課	継続実施	継続実施	継続実施	逐次、財政状況などを公表することにより、行政運営の透明性の向上が期待できます。	【意見等】 ・わかりやすく、より充実した内容で広報・ホームページなどで公表するように工夫する。 →総務課	【意見等】 ・わかりやすく公表する。 →総務課	○実施済 (継続実施)	○継続実施(わかりやすく公表する。)
5	予算・決算状況の公表	わかりやすく、より充実した内容を広報・ホームページ等で公表します。	総務課	検討	検討実施	継続実施	予算・決算状況を公表することにより、行政運営の透明性の向上が期待できます。	【意見等】 ・ホームページ等で事業概要書載せるなど工夫をする。 ・予算を2回にわけて広報に掲載するなど、他の町の広報を見て工夫する。 →総務課	【意見等】 ・H23年度事業概要書をホームページで公表する(推進委員会でも話しをしている。) →総務課	○実施済 (継続実施)	○継続実施(H23年度より当初予算の事業概要書を公表している。)